

Unit 7 分詞構文

分詞には、状況を描写する分詞構文があります。接続詞を用いた表現が、明らかな状況を描写するのに対して、分詞構文は余韻を残しつつ状況を描写する手段だといえます。例えば、ふたつの文を比べてみましょう。

When I opened the door, I saw Mary lying on the sofa.

(ドアを開けたとき、メアリがソファに横たわっているのが見えた)

Opening the door, I saw Mary lying on the sofa.

(ドアを開けると、メアリがソファに横たわっているのが見えた)

When I opened the door... では、「私がドアを開けたとき」はある過去時において行為が行われた時点が明確に示され、そのあとに「そして～した」にあたる別の過去の行為が表現される形です。これに対して、Opening the door では、「ドアを開けると」という意味合いで、ドアを開けている状況を示し、その状況と重なりあうような形で次の行為が表現されます。Opening the door の部分だけでは、時間的に何時のことなのか、「時」「条件」「理由」などのうちどういう意味を表すのかの判断は、後に続く情報を待たなければなりません。

こうしたことから、ふたつの行為の連続性、同時性を表現するのに分詞構文は効果的です。